

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和2年7月24日
伊丹市長 藤原保幸

7月23日、東京都では過去最多の366人の新型コロナウイルス感染者が確認されたとの報道がありました。

兵庫県では、7月22日に30人、23日には35人の感染が新たに確認されたことから、医療体制を「感染警戒期」から「感染増加期」に移行し、対応する病床数を300床程度から400床程度に引き上げました。

伊丹市内におきましても、20歳代・30歳代の感染者が続けて確認されています。

市民の皆さんには、連休期間中ですが、改めて東京都など感染が再拡大している地域への不要不急の往来を自粛するとともに、感染防止策がなされていないイベント等への参加を控えて下さるようお願いいたします。

また、発熱やだるさ等の症状がある場合は外出を控えていただき、特に高齢や基礎疾患をお持ちの方につきましては、なお一層のご注意をいただくことをお願いいたします。

また、学生をはじめ若者の皆さんは、多人数での会食は慎重にいただき、飲食しながら大声での会話や回し飲みを避けるようお願いいたします。

市といたしましても、今後とも必要な感染症対策と支援策を打ち出してまいりますので、国や県、本市が発信する情報に注視いただき、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。